

製品名: COL1A2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82402**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	129kDa

抗原情報

遺伝子名	COL1A2
別名	OI4; EDSCV; EDSARTH2
遺伝子 ID	1278.0
SwissProt ID	P08123
免疫原	大腸菌で発現したヒト COL1A2 (AA: 23-79) の精製された組み換え断片。

背景

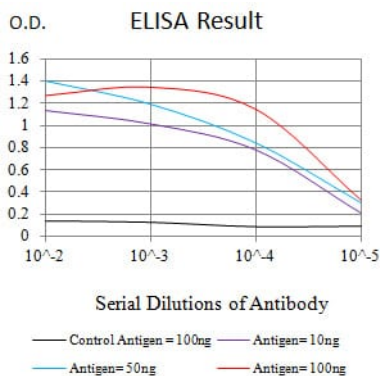
この遺伝子は、2つの $\alpha 1$ 鎖と1つの $\alpha 2$ 鎖からなる三重らせん構造を持つI型コラーゲンのプロ $\alpha 2$ 鎖をコードしています。I型は、ほとんどの結合組織に存在する原線維形成コラーゲンで、骨、角膜、真皮、腱に豊富に含まれています。この遺伝子の変異は、骨形

成不全症 I~IV 型、エーラスダンロス症候群 VIIB 型、劣性エーラスダンロス症候群古典型、特発性骨粗鬆症、非典型マルファン症候群に関連しています。しかし、この遺伝子の変異に関連する症状は、I 型コラーゲンの $\alpha 1$ 鎖遺伝子 (COL1A1) の変異よりも軽度である傾向があり、これはマトリックスの完全性における $\alpha 2$ 鎖の役割が異なることを反映しています。この遺伝子については、交互ポリアデニル化シグナルの使用に起因する 3 つの転写産物が特定されています。

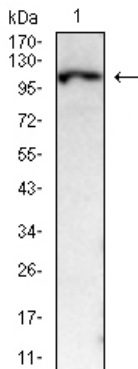
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

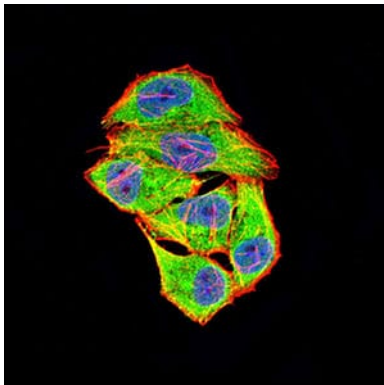
画像データ



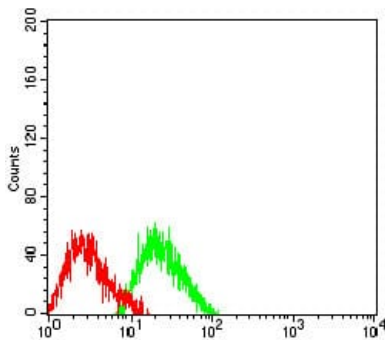
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



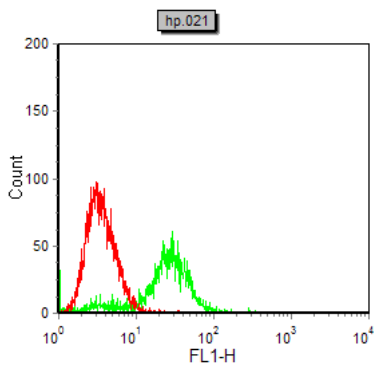
NIH/3T3 細胞溶解物に対する THY1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



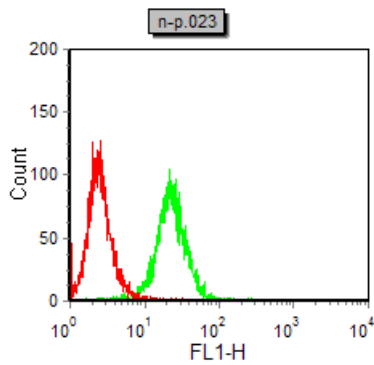
COL1A2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



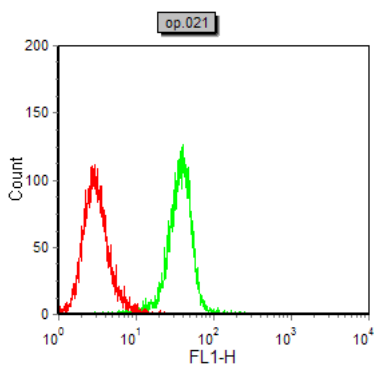
COL1A2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した SW480 細胞のフローサイトメトリー分析。



COL1A2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



COL1A2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



COL1A2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。